

南島原市ニュース

令和3年4月16日

タイトル アートビレッジ・シラキノ企画展
「LINE POSITION DIARY」開催中

本市は銅版画発祥の地であり、400年前にキリシタンの手で誕生しましたが禁教令によって版画文化は姿を消してしまいました。

その後、渡辺千尋氏により版画文化が再生すると、中林忠良氏、野田哲也氏の手を受け継がれ、再び発展していくこととなります。

本展では3人の作品を初期から現在までの時系列に並べ、その画業を紹介します。彼らの作品を通して日本現代版画黄金期の輝きと、その背景で紡がれた版画文化に思いを馳せていただければ幸いです。

記

■開催期間 4月13日(火)～5月9日(日)

・開館時間 午前10時～午後6時

・休館日 毎週月曜日

■会場 南島原市アートビレッジ・シラキノ
(旧白木野小学校：南島原市南有馬町丙1795)

■料金 無料



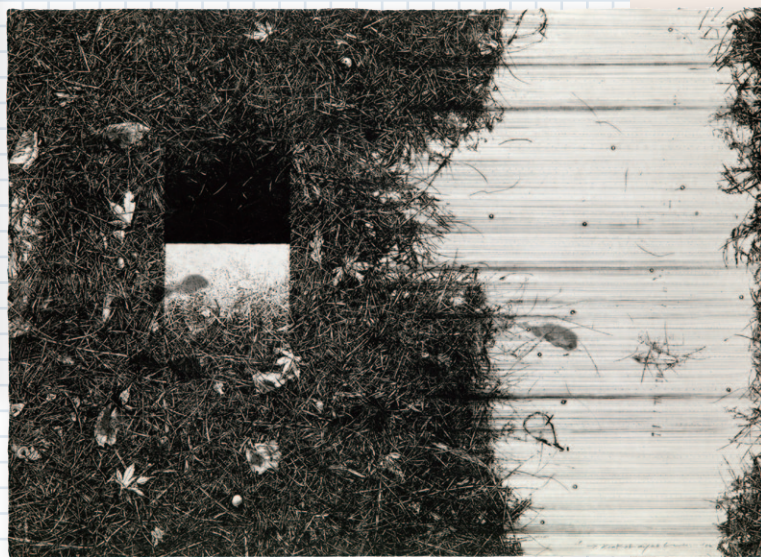
アートビレッジ・シラキノ
Facebook

※5月2日(日)開催予定の関連イベントにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況に鑑み、中止としました。

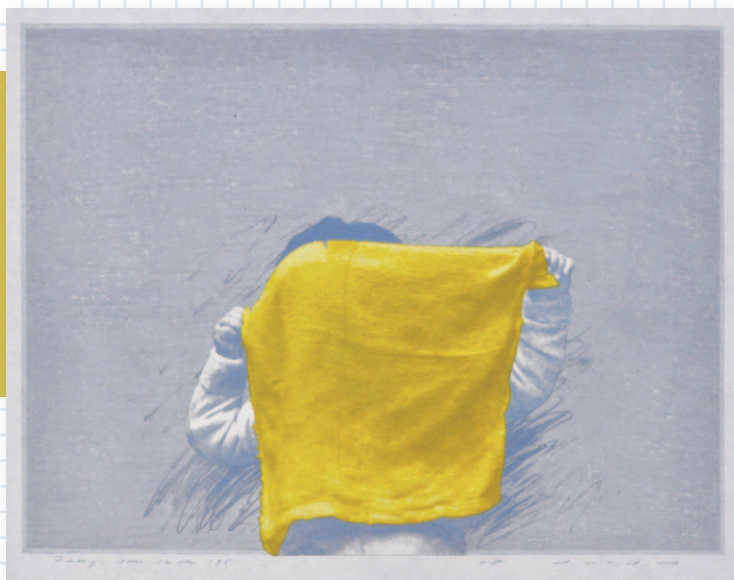
担当部署	教育委員会生涯学習課	担当者	猿渡 忠敬
直通	0957-73-6703	E mail	shakaikyoku@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは <small>☎</small>	https://www.facebook.com/artvillageshirakino/	検索ワード	アートビレッジ・シラキノ
担当者 連絡先			



Chihiro Watanabe 象の風景—Mダム地区 1979年 ビュラン 20.8×30.0cm



Tadayoshi Nakabayashi 転位 '04—地—1 2004年 エッチング アクアチント ドライポイント
余白なし 56.0×76.5cm 紙 KOCHI N.B



Tetsuya Noda Diary: Aug. 14th '03 2003年 木版、シルクスクリーン 57.7×37.6cm

LINE POSITION DIARY

— 渡辺千尋 中林忠良 野田哲也 版画展 —

● 南島原市アートビレッジ・シラキノ 1F ●

2021 4.13 TUS ▶ 5.9 SUN 10:00~18:00 (月曜休館)

~~関連イベント: 特別講演「アーティストトーク」2021 5.2 SUN 13:15~16:15~~

● 長崎県美術館県民ギャラリー ●

2021 5.18 TUE ▶ 5.23 SUN 10:00~18:00 (金土のみ20:00まで)

LINE POSITION DIARY

渡辺千尋、中林忠良、野田哲也は日本現代版画黄金期を代表する優れた版画家であると同時に、長崎県南島原市の版画文化の再生と発展に大いに貢献してきたという共通点を持ちます。南島原市は日本における銅版画発祥の地です。それは400年前キリシタン達の手で誕生しました。しかしこの版画文化は禁教令によって他の多くのキリシタン文化と共に姿を消してしまいます。400年後その失われた版画文化を再生したのが渡辺です。そしてその蘇った版画文化は、渡辺の死後、中林、野田二人の版画家の手に受け継がれ再び発展していく事となります。

本展ではこの三人の初期から現在までの作品を時系列に並べ、その画業を俯瞰的に紹介します。彼等の作品を通して日本現代版画黄金期の輝きと、その背景で紡がれた南島原の版画文化に思いを馳せていただければ幸いです。



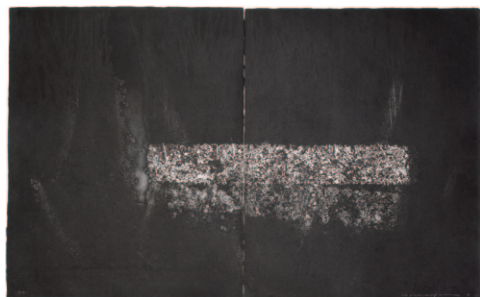
Diary: Sept. 29th '02, in Seoul, Korea
2002年 木版、シルクスクリーン 45.7×92.8cm



Diary: Aug. 14th '03
2003年 木版、シルクスクリーン 57.7×37.6cm



Transposition-転位-III
1979年 エッチング アクアチント 雁皮刷 56.5×44.8cm 紙 M.O



転位 '87-地-IV
1987年 エッチング アクアチント 余白なし 2枚組
62.0×101.0cm 紙 KOCHI N.B



象の風景-零地区
1986年 ビュラン 36.0×47.0cm



有家版キリシタン銅版画『セビリアの聖母』復刻版
1996年 ビュラン 23.0×7.5cm

渡辺 千尋

版画家、装丁家

- 1944年 東京生れ 長崎市にて育つ
- 1965年 桑沢デザイン研究所卒業
- 1978年 銅版画を始める ビュランに出会う 東京版画研究所に通う
- 1994年 『ざくろの空頼珍漢人形伝記』第1回運如賞受賞
- 1996年 長崎県有家町の依頼により銅版画「セビリアの聖母」を復刻
- 2001年「殉教（マルテル）の刻印」第8回小学館ノンフィクション大賞優秀賞
- 2009年 食道癌のため逝去 享年64歳

中林 忠良

版画家、東京芸術大学名誉教授

- 日本版画協会理事、日本美術家連盟理事長
- 1937年 東京都生まれ
- 1965年 東京芸術大学大学院美術研究科版画専攻修了
- 1975年 文部省在外研究員としてパリ、ハンブルグにて研修
- 1978年 東京芸術大学美術学部 助教授（89年教授）
- 2003年 紫綬褒章を受章
- 2014年 瑞宝中綬章を受章

野田 哲也

版画家、東京芸術大学名誉教授

- 1940年 熊本県宇土郡不知火町（現・宇城市）生まれ
- 1965年 東京芸術大学大学院美術研究科版画専攻修了
- 1968年 東京国際版画ビエンナーレ・国際大賞受賞
- 2003年 紫綬褒章を受章
- 2014年「野田哲也の日記」展（大英博物館）
- 2015年 瑞宝中綬章を受章
- 2020年「My Life in Print」展（シカゴ美術館）

◆関連イベント：特別講演＋アーティストトーク◆

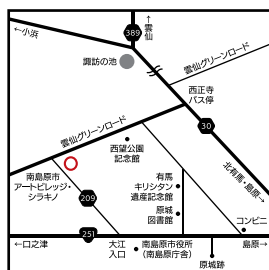
2021 5.2 SUN 13:15～16:15

特別講演

「渡辺千尋とセビリアの聖母」長崎県美術館 学芸員 稲葉友法 13:15～14:15

アーティストトーク

「a dialogue in SHIRAKINO 中林忠良×野田哲也」14:15～16:15



[会場連絡先] 南島原市アートビレッジ・シラキノ
859-2413 長崎県南島原市南有馬町丙1795

[開館時間] 10:00-18:00 月曜休館

[TEL] 0957-85-3055

[Email] art.shirakino@gmail.com

